

2020(令和2)年度第2回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会 議事録

■開催日時 2020(令和2)年8月5日(水)
午後1時30分～午後3時00分

■開催場所 市役所本庁舎5階 全員協議会室

■出席者 (敬称略)

【委員】

大森 秀俊(伊賀市副市長)、宮崎 寿(伊賀市企画振興部長)、
金口 正幸(近畿日本鉄道(株) 代理 村上 慶晃)、藤巻 恵(伊賀鉄道(株)
代理 坂本 充)、川端 邦裕(三重交通(株))、渥美 宏(中部運輸局
三重運輸支局 代理 鈴木 博行)、富井 和哉(伊賀警察署交通課)、
天野 圭子(三重県地域連携部交通政策課 代理 中根 真由美)、
富永 大介(三重県伊賀建設事務所)、辻本 勝久(和歌山大学
経済学部)、加藤 幸生(市民公募委員)、堀田 大(いが移動送迎
連絡会)、番條 克治(布引地域住民自治協議会)

【事務局】

企画振興部 森、 交通政策課 吉岡、坂森、吉福、稻森
各支所振興課長、課員、中央コンサルタンツ(株)

■傍聴人：0人

■会議概要

1. 開会

交通政策課長 吉岡

会長あいさつ

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルス対策で外出する機会が減った方も多いと思います。私も久しぶりに公共交通で遠くまで来ました。きれいな田んぼを見ながら伊賀線に乗り、その後、上野市駅から新しい「にんまる」で13時19分に着く便がありましたので都合が良いと思い、「にんまる」でここまで来ました。公共交通を使うことで非常に楽しい気分になり、やはり外に出ることは人を元気にすると改めて感じました。人が元気になると買い物等々が盛んになり、街もおそらく元気になると考えています。

今日は外出に非常に関わりが深い、公共交通に関する新しい計画の策定等についてご協議いただくことになっています。

豊かな市民生活、それから観光促進等々に関連する非常に重要な議題ですので、1時間半程度と時間も限られていますが、活発にご議論いただけるとありがたいと思っています。よろしくお願いします。

・委員、事務局 自己紹介

2. 協議事項

(1) 自家用有償旅客運送の更新登録について

事務局から資料1に基づき説明

【質疑応答】

委員 (三重運輸支局)	安全管理と事故防止について、自家用有償運送の重大事故は毎年発生しており、過去には死亡事故も発生している。 安全な運行を行うために関係法令や安全管理を順守していただいていると思うが、今回の更新に合わせ改めて努めていただければと思う。 申請の内容に関しては問題ない。
----------------	---

【承認】

(2) (仮称)伊賀市地域公共交通計画の策定について

(3) 第1回協議会で出された意見について

事務局から本編・資料編および資料2に基づき説明。

【質疑応答】

会長	本編の18ページ、「伊賀鉄道は乗客との距離の近さの強みを活かした」とあるが、他の鉄道やバス、タクシーでは乗客との近さが強みではないということか。
事務局	アンケートの自由記述の中で伊賀鉄道の乗務員の対応が非常に良いというご意見が見受けられたため記載しました。全体の傾向としてはバスも鉄道も乗務員の対応に大きな差はありませんが、自由記載の内容からニーズに関する課題とさせていただきました。
委員	本編18ページの「インターネットによる情報提供」の意味について、ご説明いただきたい。
事務局	「インターネットによる情報提供」については、既存の経路案内サービスを使った情報提供がございます。
委員	資料2の「小さな拠点」について、本編24ページの「地域公共交通ネットワークの将来イメージ」の地域拠点が「小さな拠点」となるのか。

事務局	地域拠点が「小さな拠点」と考えていますが、これは都市計画マスタープランや立地適正化計画の中で、住居地を誘導していくという考えが示されています。そのため、公共交通においても、地域拠点を定め、各拠点へ乗り継いでいくための公共交通拠点を各地域に設置したいと考えています。
委員	地域拠点の範囲はどの程度を想定しているのか。高齢化が進行すると車や歩行での移動が困難となる。食事や買い物、病院などの施設の集約を考えていると思うが、どのくらいの範囲を考えているのか。また、現時点で地域拠点は実現可能なのか。
事務局	地域拠点をその地域の公共交通拠点として設定し、地域拠点から離れた場所に住んでいる方については、これまで通り、行政サービス巡回車を利用していただき、地域拠点からバス等で市内に移動していただきたいと思いますと考えています。
委員	地域公共交通計画では伊賀市立地適正化計画と整合を図ることになっている。立地適正化計画には様々な拠点があるが、その中で、各支所の周辺等を地域拠点としている。立地適正化計画に基づく書き方だのご理解いただければと思う。
委員	大山田地区の病院について考えると、現状、診療所が休業している中で高齢者は移動が難しい状況となっている。今後、地域拠点に機能を集約する努力はしていただけるのか。
委員	機能を集約するというよりも、少なくとも地域拠点まで移動できる交通アクセスを整えるということだと考えている。 コンパクト化については今後の課題だと考えている。立地適正化計画の中ではコンパクト＋ネットワークという形になっており、ネットワークは非常に大事な要素になっている。今回の計画はネットワークに当たる部分の計画となっている。
会長	用語説明のページを作っていただいた方が良いと思う。
委員	6年間の計画のため、今後の施策として MaaS などの公共交通対策に取り組んでいく必要があると思う。挑戦的ではあるが、各公共交通機関を一体としてサービス提供できる仕組みを検討いただきたいと思います。
会長	次回以降、具体的な施策を考えていく際の課題となると思う。アンテナを張り、研究をしていただき、施策の中に盛り込むべきことは盛り込んでいただければと思う。
委員	本編25、26ページで地域公共交通の機能分類にタクシーが位置付けられていないが、タクシーについてはどのようにお考えか。
事務局	タクシーという文言は明記していませんが、その他行政バス等の中にタクシーが含まれるものと考えており、個別の施策の中で

	どのように連携していくか、今後、検討していきたいと考えています。
会長	本編３ページの「本計画の移動手段のイメージ」にタクシーの記載があるため、２６ページの「地域公共交通の機能分類と路線維持の基本的な考え方」にもタクシーという文言を入れる方向で資料を作るべきだと思う。事務局の方でご検討いただき、次回説明いただければと思う。
委員	スクールバス、福祉有償運送について、資料編には整理されているが、公共交通として、スクールバス、福祉有償運送の活用についても第４章以降の部分で検討していただければと思う。
会長	地域の輸送資源の総動員という中で、本編３ページの「本計画の移動手段のイメージ」内で「地域公共交通と役割分担を図っていく移動手段」を「本計画の対象とする移動手段」として位置づけていただければと思う。
委員	移動困難者は増えており、福祉有償運送による移動支援では、地域公共交通をご利用いただけない方に利用いただいている。事業を行っていく中で、公共交通を利用できるように思える方も見受けられるため、地域公共交通である地域運行バスを積極的に導入いただき、住民の移動を支えていただければと思う。
事務局	総動員という考えの中で福祉有償運送等との連携を図っていくべきと承知しています。一方で、公共交通の施策の限界という状況もあります。役割分担としている中で、個々の施策で具体的にどう連携していくかを今後、ご提示していきたいと考えています。
委員	伊賀市では、登下校の中学生が営業路線バスの阿波線で一般の乗客と混乗している事例があるため、福祉有償運送やその他の移動手段を含め、総動員を考えた６年間の計画を策定する方が良いのではないかと考えており、皆さんのご意見を伺わせていただいた。
委員	本編２２ページの中で「伊賀市の移送資源を効率的に活かし、地域の移動性を高めていくために、伊賀市内で運行する各種の送迎バスなどとの役割分担を図ります。」とあるため、今後の計画の中で、この方針を具体化いただき、理念の達成に向けて従来の公共交通と福祉有償運送等との連携について検討いただきたいと思う。
会長	今後のスケジュールとして、本編３ページの「本計画の移動手段のイメージ」について今回の協議会で確定しなければ、今後、計画の策定に影響を及ぼす状況か。
事務局	予定では次回協議会を１０月末頃に実施したいと考えており、

	完成版の中間案をお示しした後、パブリックコメントや地域説明会等を行いたいと考えています。今回、ご指摘いただいた部分について、次回協議会の中で説明を行うか、次回協議会までに意見を反映した資料をご確認いただくかについては検討させていただきたいと思います。
事務局	本編１８ページの「インターネットによる情報提供」について、補足させていただきます。伊賀市では、毎年、伊賀鉄道及びＪＲ関西本線、近鉄大阪線の乗り継ぎを考慮した時刻表や各支所の行政バスについては時刻改正が行われる度に時刻表を作成して周知を図っています。資料編１１９ページに記載している通り、インターネット上での経路案内サービスでの対応も進めています。 資料２中に回答として記載させていただいていますが、現在、行政バスのインターネット上での経路案内については対応が十分でない状況となっています。今年度、三重県の事業を活用させていただき、鉄道、バス、行政バスの各種経路案内に対応していく予定となっています。

【本編の３、２５、２６ページについて、意見をいただいた内容については保留】

【それ以外の部分については承認】

（４）伊賀鉄道生活交通改善事業計画の一部変更について事務局から資料４に基づき説明。

【質疑応答】なし

【承認】

（５）その他

中部運輸局三重運輸支局より「バスデータ活用大百科」について説明。

事務局よりチラシ「公共交通の利用について」「公共交通への応援メッセージ」について報告。

事務局より第３回地域公共交通活性化再生協議会の開催予定について報告。

【質疑応答】なし

（終了）